

非常変災時等における非常措置について 保護者の方へのお知らせ

1. 本県に「暴風警報」または「特別警報」が発令された場合

午前7時の時点で「暴風警報」または「大雨、暴風、大雪等を含む特別警報」が発令

↓
臨時休業

午前7時の時点で各中学校区内で避難勧告・避難指示が発令中

↓
該当する中学校区内の全小中学校は臨時休業

【注】臨時休業の場合、翌日の学習予定は時間割通り持たせてください。

また、臨時休業日の家庭学習は、音読、計算や漢字練習等の自主学習とします。

2. 「暴風警報」または「特別警報」発令前、解除後、またそれ以外の大雨警報等による危険が予想される場合

「暴風警報」または「特別警報」発令前、解除後、またそれ以外の大雨警報等であっても河川や水路等の著しい増水等で、登校時に危険が予想される場合は、市教育委員会と協議の上、児童を自宅待機にし、必要に応じて始業時刻の繰り下げ、または臨時休業の措置をとることがあります。この場合には、**学校より緊急メールで連絡をいたします。**

3. 児童が学校にいる間に「暴風警報」または「特別警報」が発令された場合

児童の下校に支障がないと判断される場合は、早めに下校させます。また、「暴風警報」または「特別警報」が発令されていなくても、河川や水路などの著しい増水等下校に危険が予想される場合は、下校時刻を早める措置をとることもあります。これらの場合には**学校より緊急メールで連絡をいたします。**

また、場合によっては**緊急メールでお迎えをお願いすることがあります。**この場合は、児童は体育館に集合待機とし、グラウンドに駐車していただくことを想定していますが詳細については別途お知らせいたします。

事故等発生時の対応の基本

命を守る
迷わず迅速な対応
AEDの使用を！

事故等発生

体育(水泳、持久走..) 階段
理科の実験 給食時(アレルギー等)
校外の活動 窓際 ガラス

要注意！！

発見者

- ☆発生した状況把握
- ☆傷病者の症状確認
(意識・心拍・呼吸・出血等)
- ☆心肺蘇生などの応急手当

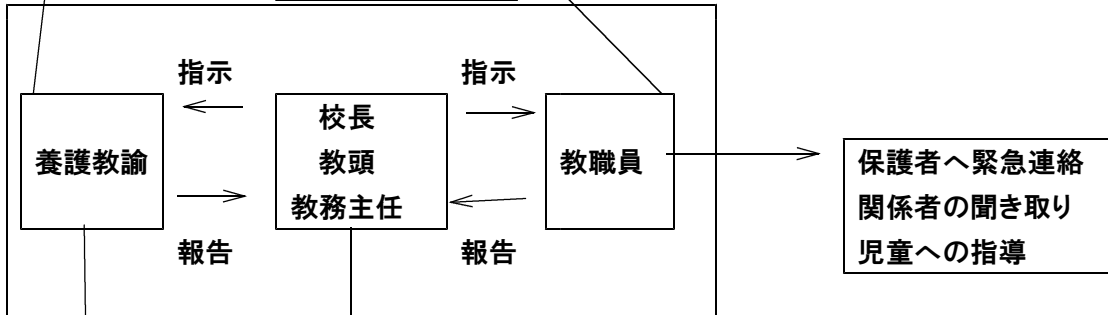
現場ですぐに！！ AED(職員室保管)を取りに走る又は要請

協力要請や指示！ 必要なら110番119番通報

場合によっては他者へ通報依頼

他の教職員又は児童

重大事故の場合 **緊急対策本部設置**



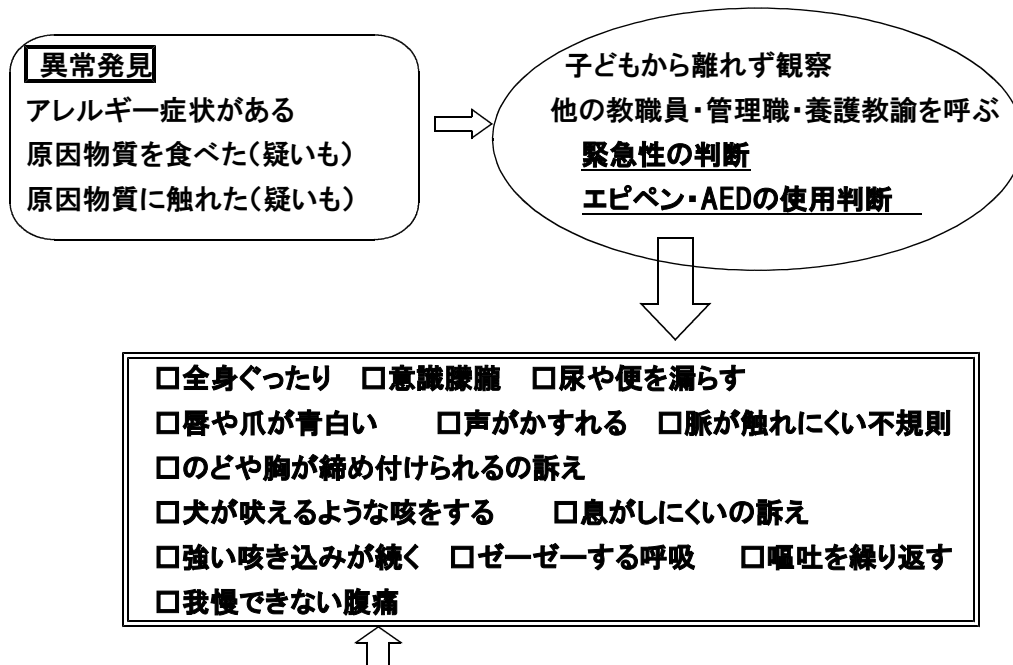
学校医
医療機関

- 浅田校医69-7755
- 水口消防63-1119
- 甲賀警察62-4155
- 城南交番62-9096
- 甲賀病院62-0234
- 教育委員会
69-2244・2245

警察・救急車要請 → 医療機関
付き添い搬送者決定 状況を随時本部に連絡
教育委員会(69-2244)へ第一報(その後様式により報告)
関係保護者への連絡・場合によって担任と共に訪問
マスコミ関係への対応 窓口の1本化

緊急を要しない小さなけが等の場合も必ず保護者に連絡
帰宅後の様子を確認！

食物アレルギーへの対応



☆上の症状が一つでもあれば救急車(119番要請) 保護者に連絡

☆すぐにエピペン使用

☆反応がなく、呼吸がなければ心肺蘇生 AEDの使用

記録担当をすぐに決めて

- 症状発生の時刻 エピペン使用時刻 5分ごとの症状
内服薬の使用時刻等を 記録!

エピペンの準備 AEDの準備 最も近い者が至急準備

日常的に総ての教職員がエピペン・AEDの保管場所を確認しておく
毎年4月にエピペン研修を実施。

エピペン 緊急事態と判断(5分以内)その場にいる者が打つ

- ①ケースから取り出す。②利き手でグーで握る ③青いキャップをはずす
④太ももの外側に注射!「カチッ」と音がするまで強く押し当て5秒待つ
⑤使用済みのエピペンは救急隊に渡す。

☆仰向けにするか足を高くする。(ショック体位)

☆その場で安静にする 立たせたり、歩かせたりしない

☆その場で救急隊を待つ

熱中症への対応

予防について

しっかり栄養朝ごはん ぐっすりすいみん 体力作り

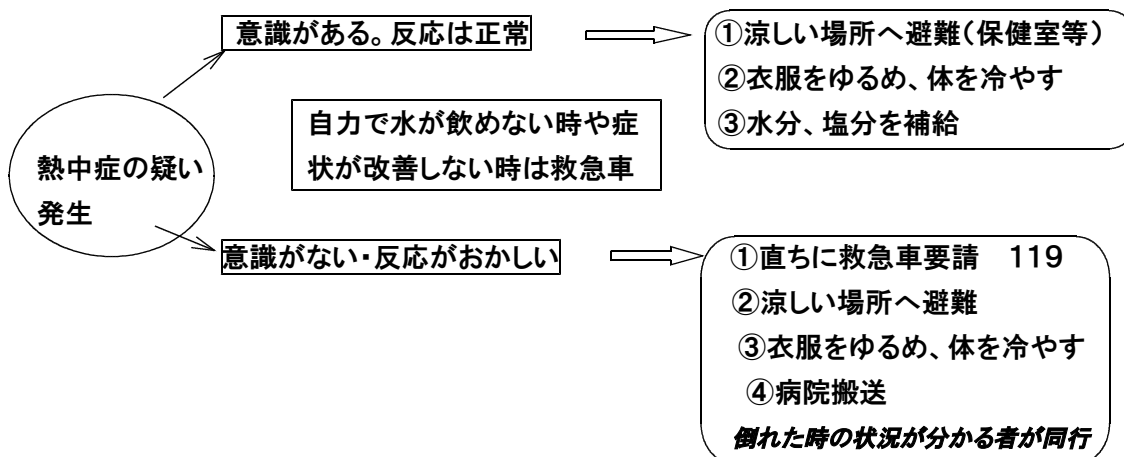
- 夜更かしをせず早く寝て十分なすいみんをとる
- 朝ごはん（副食や味噌汁など）をしっかり食べる
- お茶か水で小まめに水分補給
- 日頃から外で体を十分動かす遊びを楽しむ
- 外に出る時は帽子をかぶる
- 暑さに適した服装と十分な水分の準備を保護者に依頼

暑い時期の運動について

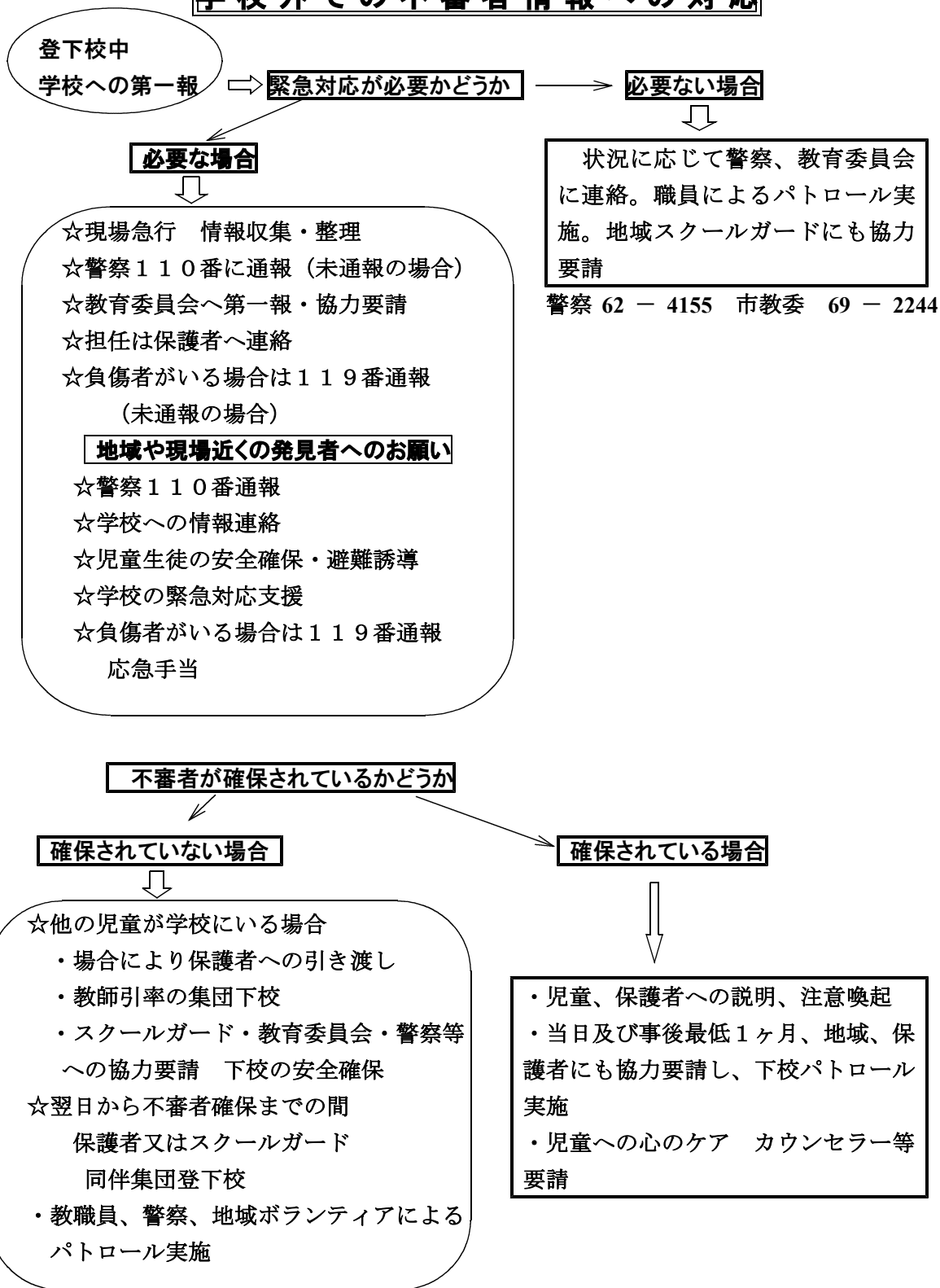
環境省熱中症予防サイトの東近江・土山観測地の指数と市教委から配布された熱中症計(特に児童が活動している日光が当たる日なたの値)を参考にし、

WBGT31度以上の時は運動を禁止する

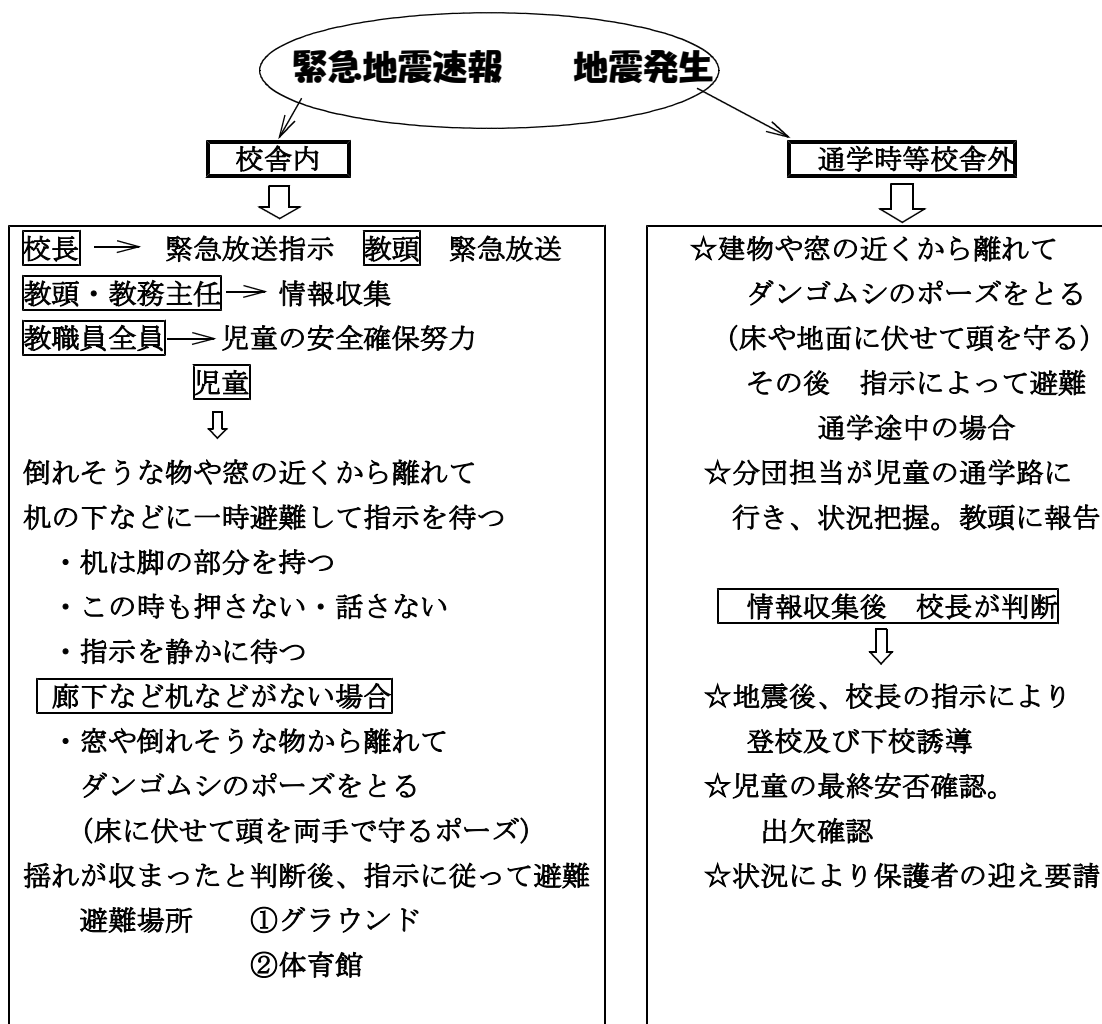
- ☆運動以外の野外活動等、日の当たる場所での活動についても十分な配慮をする。
- ☆気温30度以上やWBGT31度以上の時の下校時は、十分な水分を摂らせた後下校することとし、お茶等がなくなった児童は職員室で水分補給してから下校する。
(下校時又は下校後、教職員で巡回する)
- ☆WBGTが危険域に達していなくても、運動する場に水筒を持参し、適宜休憩を取りながら水分補給をする。
- ☆運動会練習など1時間以上運動する時はテント内など日陰で休憩を必ず2回以上入れて水分補給をする。
- ☆プールでの授業や運動会までの時期は、水、お茶以外にスポーツドリンクも可とする。



学校外での不審者情報への対応



地震発生時の対応



日常的な指導・点検

☆地震や津波についての学習

(大地震を経験している児童がいる場合は、配慮。指導内容を保護者と相談)

☆キャスター付きロッカーなどのロック確認

☆ロッカー等の固定

☆避難訓練の実施 休み時間 授業中など場面を変えて

基本は 落ちてこない 倒れてこない 移動してこない 場所への避難

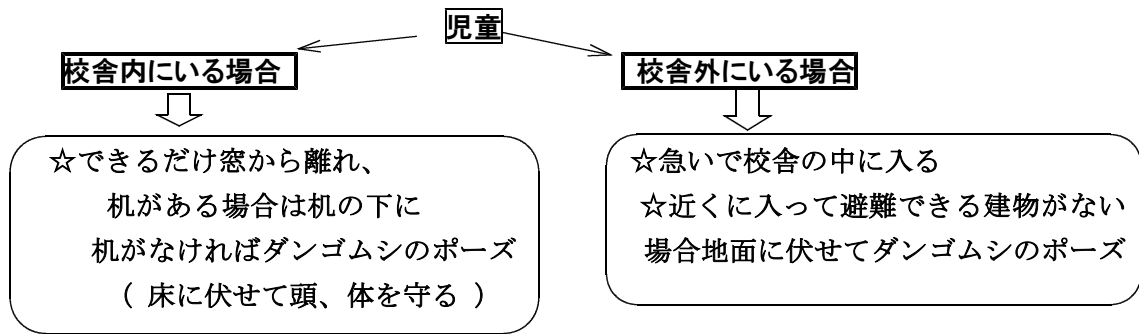
☆引き渡し訓練の実施

☆避難所になった場合の研修実施

弾道ミサイル発射への対応

Jアラートによる弾道ミサイル発射情報 ミサイル発射！

校長 緊急放送指示 教頭 緊急放送
教務主任・教務 情報収集



校長 ⇨ 落下場所等について情報収集後、放送指示 教頭 ⇨ 放送
通過情報の場合 屋内避難、体頭を守る姿勢での待機解除
追加情報があれば避難等継続

爆破及び犯罪予告等への対応

